

平成27年度
海南省地域防災活動支援事業 実績報告
～ 仁義地区～



平成27年10月

海南省

《 目 次 》

1. 概要	1
1.1. 地域支援事業の趣旨	1
1.2. 事業の目標	1
1.3. 実施概要	1
2. 防災研修会	2
2.1. 第1回防災研修会	2
2.1.1. 内容	2
2.1.2. 実施風景	3
2.1.3. 質疑応答記録	3
2.2. 第2回防災研修会	4
2.2.1. 内容	4
2.2.2. 実施風景	5
2.2.3. 防災マップ発表内容	9
2.2.4. 防災マップ	11
3. 防災訓練	19
3.1. 訓練概要	19
3.2. 記録結果	19
3.2.1. 実施風景	19
3.3. アンケート結果	22

1. 概要

1.1. 地域支援事業の趣旨

平成 23 年の紀伊半島大水害や平成 26 年の広島市における土砂災害などを教訓とし、台風や集中豪雨による風水害に備え、重点地区（別所・扱沢・東畑、南野上、加茂、仁義）において、全住民が参加する防災訓練を実施する。訓練当日は、海南市役所（災害対策本部）から重点地区全域への防災行政無線放送等により気象情報及び避難情報が伝達され、地域住民は予め想定した避難のタイミングや避難経路に従い、訓練に取り組むことで、それぞれが災害時に必要となる避難行動を確認するものである。

1.2. 事業の目標

風水害の発生または発生のおそれが生じた時、地域住民それぞれが迅速かつ的確な判断をし、主体的な行動により自らの命を守ることができるようになることを目標としている。

1.3. 実施概要

(1) 防災研修会

【第 1 回】

日時	平成 27 年 5 月 24 日（日）13：30～15：30
場所	加茂川小学校 体育館
内容	1. 主催者挨拶 2. 被災経験者による体験談 3. 学識経験者による講演 4. 重点地区防災訓練に向けての今後の予定について 5. 避難行動要支援者名簿について

【第 2 回】

日時	平成 27 年 7 月 26 日（日）13：30～16：30
場所	旧仁義小学校 体育館
内容	1. 主催者挨拶 2. 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明について 3. 訓練当日（8月30日）のスケジュールについて 4. 防災マップづくり・発表 5. 訓練当日（8月30日）までの取り組みについて 6. 閉会挨拶

(2) 防災訓練

日時	平成 27 年 8 月 30 日 (日) 9:00~10:00
場所	笠畑・興・上出・下出・松尾・土井原・百垣内・曾根田
内容	1. 避難訓練 2. 避難訓練後に地区の防災ミーティング (任意)

2. 防災研修会

2.1. 第 1 回防災研修会

2.1.1. 内容

日時	平成 27 年 5 月 24 日 (日) 13:30~15:30
場所	加茂川小学校 体育館
参加者	地区参加者 83 名 職員参加者 21 名 合計 104 名
内容	1. 主催者挨拶 本研修会の開催趣旨説明 (危機管理課) 2. 被災経験者による体験談 テーマ「平成 23 年台風 12 号 紀伊半島大水害を経験して～市野々地区の当時と現状～」 那智勝浦町市野々地区 前区长 長雄 正紘 氏 3. 学識経験者による講演 テーマ「豪雨災害時における住民の避難～今から行うべき対策、備え～」 山口大学大学院 理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏 4. 重点地区防災訓練に向けての今後の予定について 5. 避難行動要支援者名簿について (高齢介護課)

2.1.2. 実施風景



主催者挨拶



研修会実施風景



被災経験者による体験談



学識経験者による講演



防災訓練実施計画概要の説明



避難行動要支援者名簿の説明

2.1.3. 質疑応答記録

特になし。

2.2. 第2回防災研修会

2.2.1. 内容

日時	平成27年7月26日（日）13：30～16：30										
場所	旧仁義小学校 体育館										
参加者	<table> <tr> <td>地区参加者</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>和歌山地方气象台</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>和歌山県砂防課</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>職員参加者</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>63名</td> </tr> </table>	地区参加者	40名	和歌山地方气象台	4名	和歌山県砂防課	2名	職員参加者	17名	合計	63名
地区参加者	40名										
和歌山地方气象台	4名										
和歌山県砂防課	2名										
職員参加者	17名										
合計	63名										
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者挨拶 本研修会の開催趣旨説明 2. 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明について <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報の説明 ・土砂災害の説明 ・水害の説明 ・避難行動、危険な場所、避難場所の説明 3. 訓練当日（8月30日）のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目的や趣旨の説明 ・当日のタイムスケジュールの説明 4. 防災マップづくり・発表 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区のグループ員で危険箇所、避難場所、要配慮者宅等を確認して大判（A0）防災マップに記載し、地区の防災マップを作成 ・各自で避難のタイミングや避難経路を確認して手元（A3版）の防災マップに記載し、個人の防災マップを作成 ・各地区で協議・作成した、地区の防災マップの内容を発表 5. 訓練当日（8月30日）までの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の班員の方々への資料配布と研修会の内容説明を依頼 ・訓練当日、児童館や公民館を使用する地区は、当該施設の開設と鍵の管理者を選任いただくよう依頼 ・避難訓練後に地区の防災ミーティングの実施を依頼 6. 閉会挨拶 										

2.2.2. 実施風景

(1) 主催者挨拶



主催者挨拶

(2) 「防災ガイドブック（風水害編）」に基づく気象情報等の説明



気象情報の説明（和歌山地方気象台）



土砂災害の説明（和歌山県砂防課）



水害の説明（海南市建設課）



避難行動、危険な場所、避難場所の説明
（海南市危機管理課）

(3) 訓練当日のスケジュール説明



訓練当日のスケジュール説明
(海南省危機管理課)

(4) 防災マップ作りの様子



笠畑地区



興地区



上出地区



下出地区



松尾地区



土井原地区



百垣内地区



曾根田地区

(5) 防災マップ発表の様子



笠畑地区



興地区



上出地区



下出地区



松尾地区



土井原地区



百垣内地区



曾根田地区

(6) 訓練当日までの取り組み説明



訓練当日までの取り組み説明
(海南省危機管理課)

(7) 閉会挨拶



閉会挨拶 (仁義地区連合自治会長)

2.2.3. 防災マップ発表内容

地区	内容
笠畑	<ul style="list-style-type: none">・笠畑公民館は危険区域のため光福寺を避難場所とした・地図上には無いが災害が起こった場合に上出や下出まで被害が及ぶ可能性があるため、県には砂防ダムの建設を早く進めてもらいたい
興	<ul style="list-style-type: none">・過去の災害・大雨で土砂崩れが発生した箇所を確認した・避難場所は興児童館と、西原の広場とした・要配慮者の居住地を確認した
上出	<ul style="list-style-type: none">・土砂災害の警戒区域が多く旧仁義小学校に避難するのは危険と判断・危険区域外の個人宅2箇所を避難場所とした・状況に応じて避難場所を変更する

地区	内容
下出	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な箇所として、土砂崩れ2箇所、谷川からの越水1箇所、倒木倒壊1箇所、川底をコンクリートで固めている箇所で底がえぐれている2箇所を確認した ・要配慮者の居住地を7軒確認したので避難時に声掛けをする ・1班の避難場所は仁義児童館とした ・2～4班の避難場所は旧仁義小学校とした ・浄善寺も避難場所として検討したい
松尾	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の水害・土砂崩れの箇所を4箇所確認した ・避難場所は松尾児童館とした ・危険区域外の住民は避難せずに自宅で待機する
土井原	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に土砂崩れが発生した箇所を確認した ・現在ひび割れの箇所を確認した ・先日の大雨で出水した箇所を確認した ・出水の箇所は車道近くで土砂崩れが発生すると車両での避難は不可能となる ・避難場所は土井原公民館とした ・鉄筋造の民家が2軒あるのでここも避難場所として検討した
百垣内	<ul style="list-style-type: none"> ・地すべり対策が他地域よりも進んでいる ・先日の大雨で出水、小石の崩落した箇所を確認した ・一部地域で石垣からの出水箇所を確認した ・百垣内集会所と教念寺は地すべり区域なので避難場所にできない ・県道から西側の住民は自宅待機か、薬師寺へ避難する
曾根田	<ul style="list-style-type: none"> ・危険区域が多く、また距離があるため旧仁義小学校(地図外)には避難できない ・避難場所は曾根田児童館とした ・過去の大雨で水害が発生した箇所を確認した ・要配慮者の居住地は全て把握できてはいないため知っている範囲で確認した ・曾根田児童館は一時避難としては最適だが長期で避難生活には適さないので行政と相談したい

2.2.4. 防災マップ

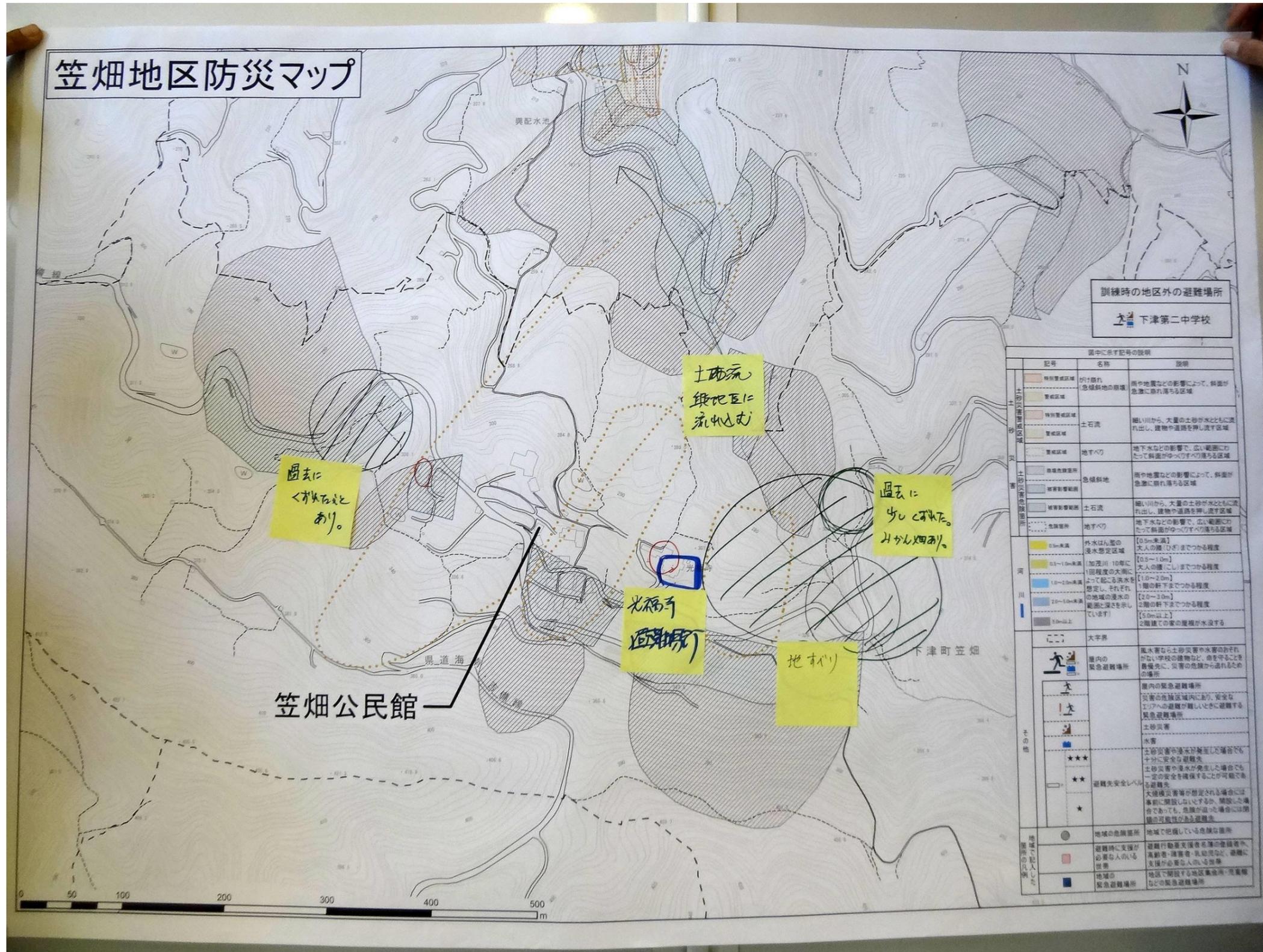
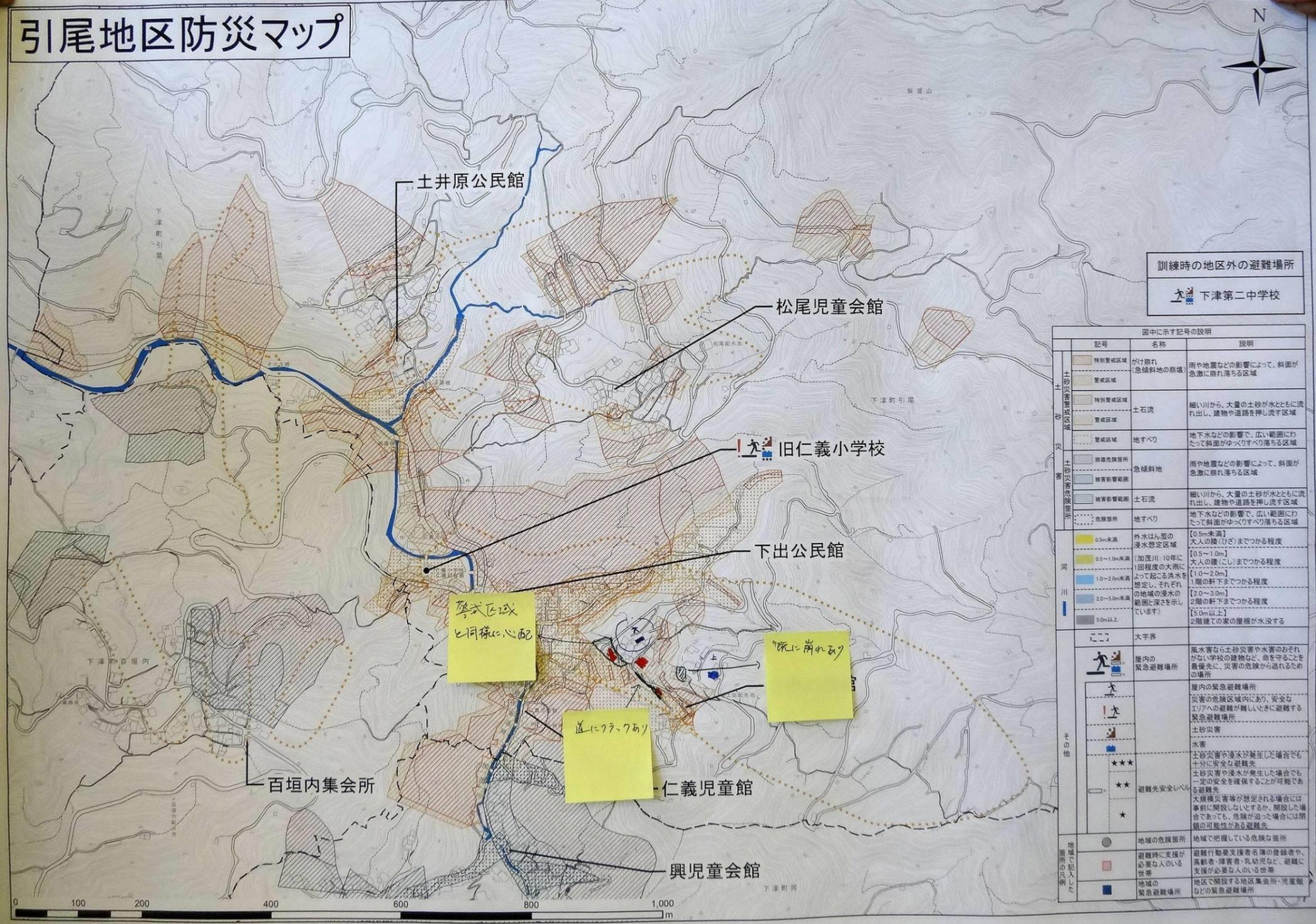


図 2-1 笠畑地区防災マップ



図 2-2 興地区防災マップ

引尾地区防災マップ



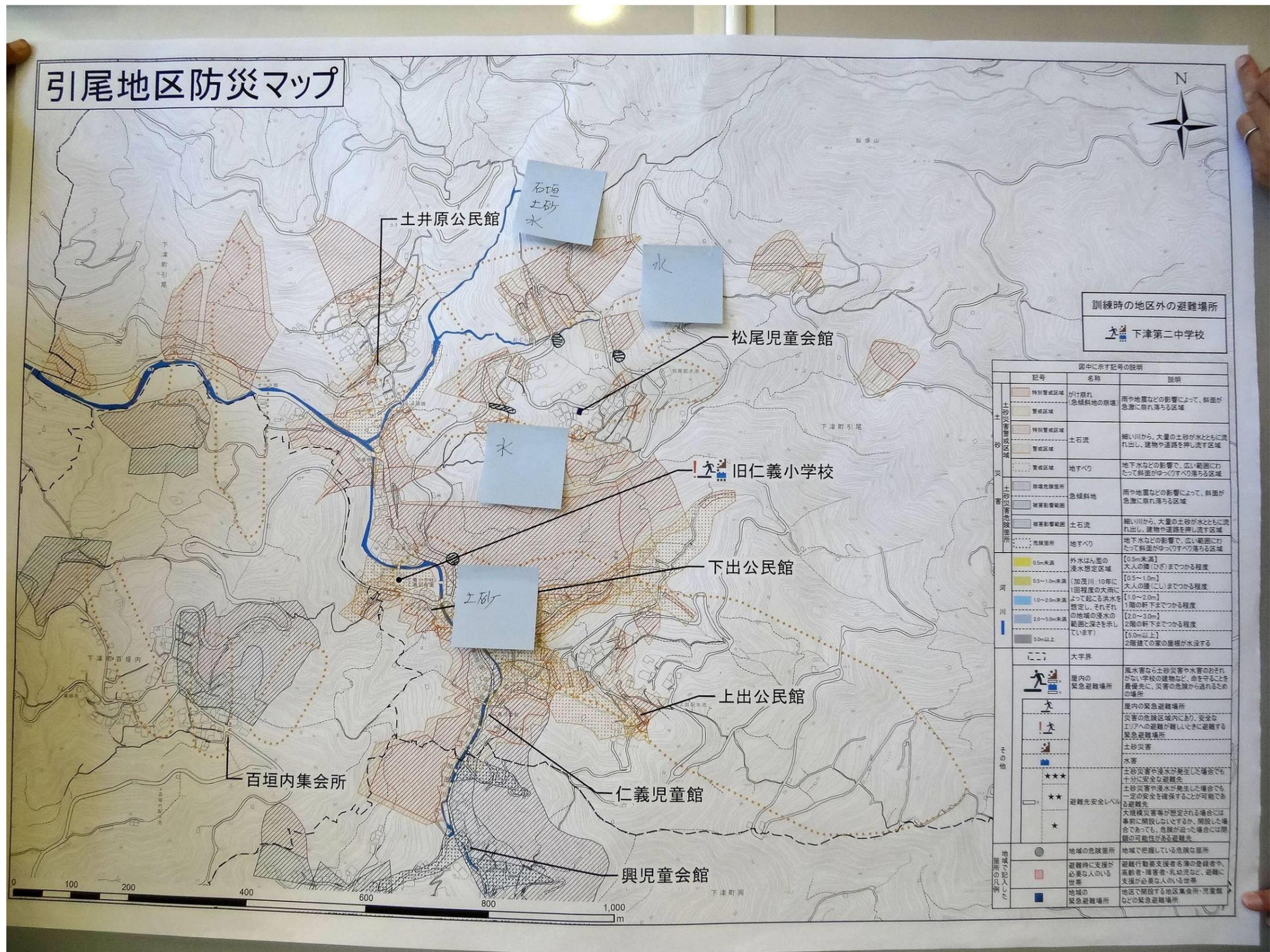
訓練時の地区外の避難場所
 下津第二中学校

図中に示す記号の説明		
記号	名称	説明
	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
	特別警戒区域 (土石流)	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	特別警戒区域 (地すべり)	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆがりやすくなり落ちる区域
	警戒区域 (急傾斜地)	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
	警戒区域 (土石流)	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	警戒区域 (地すべり)	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆがりやすくなり落ちる区域
	0.5m未満	外水はん濫の浸水想定区域 (大人の膝(ひざ)までつかる程度)
	0.5～1.0m未満	(加茂川・10年に1回程度の大雨によって起こる洪水を想定し、それぞれの地域の洪水の範囲と深さを示しています)
	1.0～2.0m未満	大人の腰(こし)までつかる程度
	2.0～3.0m未満	1階の軒下までつかる程度
	3.0～5.0m未満	2階の軒下までつかる程度
	5.0m以上	2階建ての家の屋根が水没する
	大平界	風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
	屋内の緊急避難場所	屋内の緊急避難場所 (災害の危険区域内にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所)
	緊急避難場所	土砂災害
	水害	土砂災害や洪水が発生した場合でも十分に安全な避難先
	避難先安全レベル	土砂災害や洪水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先
	避難先安全レベル	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするが、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先
	地域の危険箇所	地域で把握している危険な箇所
	避難時に支援が必要なおのいる世帯	避難行動要支援者名簿の登録者や、高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人のおのいる世帯
	地域の緊急避難場所	地区で開設する地区集会所・児童館などの緊急避難場所

図 2-3 上出地区防災マップ



図 2-4 下出地区防災マップ



訓練時の地区外の避難場所
 下津第二中学校

図中に示す記号の説明			
記号	名称	説明	
土砂災害警戒区域	特別警戒区域	がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
	警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	特別警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
土砂災害警戒区域外	警戒区域	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるくなり落ちる区域
	原状危険箇所	急傾斜地	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
	被害影響範囲	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	危険箇所	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるくなり落ちる区域
河川	0.5m未満	外水はん濫の浸水想定区域	【0.5m未満】大人の腰(ひざ)までつかる程度
	0.5~1.0m未満	加茂川・10年に1回程度の大雨による浸水想定区域	【0.5~1.0m】大人の腰(こし)までつかる程度
	1.0~2.0m未満	よって起こる洪水想定し、それぞれの地域の浸水の範囲と深さを示しています	【1.0~2.0m】1階の軒下までつかる程度
	2.0~3.0m未満		【2.0~3.0m】2階の軒下までつかる程度
	3.0m以上		【3.0m以上】2階建ての家の屋根が水没する
	〓〓〓	大字界	
その他		屋内の緊急避難場所	風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
		屋内の緊急避難場所	災害の危険区域内にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所
		土砂災害	
		水害	
		避難先安全レベル	土砂災害や洪水が発生した場合は十分に安全な避難先 土砂災害や洪水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先 大規模災害等が想定される場合には事前に開設し、開設した場合は危険が過大の場合は開設の可能性のある避難先
地域で記入した		地域の危険箇所	地域で把握している危険な箇所
		避難時に支援が必要な人のいる世帯	避難行動要支援者名簿の登録者や、高齢者・障害者・乳幼児など、避難時に支援が必要な人のいる世帯
		地域の緊急避難場所	地区で開設する地区集会所・児童館などの緊急避難場所

図 2-5 松尾地区防災マップ



訓練時の地区外の避難場所
 下津第二中学校

図中に示す記号の説明		
記号	名称	説明
特殊警戒区域	がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
特殊警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
警戒区域	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
危険箇所	急傾斜地	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
被害影響範囲	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
危険箇所	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるみやすくなる区域
0.5m未満	外水は氾濫の深水想定区域	[0.5m未満] 大人の腰(ひざ)までつかる程度
0.5~1.0m未満	(加茂川:10年に1回程度の大雨によって起こる洪水を想定し、それぞれの地域の洪水の範囲と深さを示しています)	[0.5~1.0m] 大人の腰(こし)までつかる程度
1.0~2.0m未満		[1.0~2.0m] 1階の軒下までつかる程度
2.0~5.0m未満		[2.0~3.0m] 2階の軒下までつかる程度
5.0m以上		[5.0m以上] 2階建ての家の屋根が水没する
〇二〇	大字界	
〰	屋内の緊急避難場所	風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
〰	屋内の緊急避難場所	屋内の緊急避難場所
〰	避難先安全レベル	災害の危険区域内にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所
〰	避難先安全レベル	土砂災害や洪水等発生した場合でも十分に安全な避難先
〰	避難先安全レベル	土砂災害や洪水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能な避難先
〰	避難先安全レベル	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするが、開設した場合であっても、危険が迫った場合には避難の可能性がある避難先
●	地域の危険箇所	地域で把握している危険な箇所
〰	避難時に支援が必要な人のいる世帯	避難行動要支援者等の避難者や高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人のいる世帯
〰	地域の緊急避難場所	地区で指定する地区集会所・児童館などの緊急避難場所

図 2-6 土井原地区防災マップ

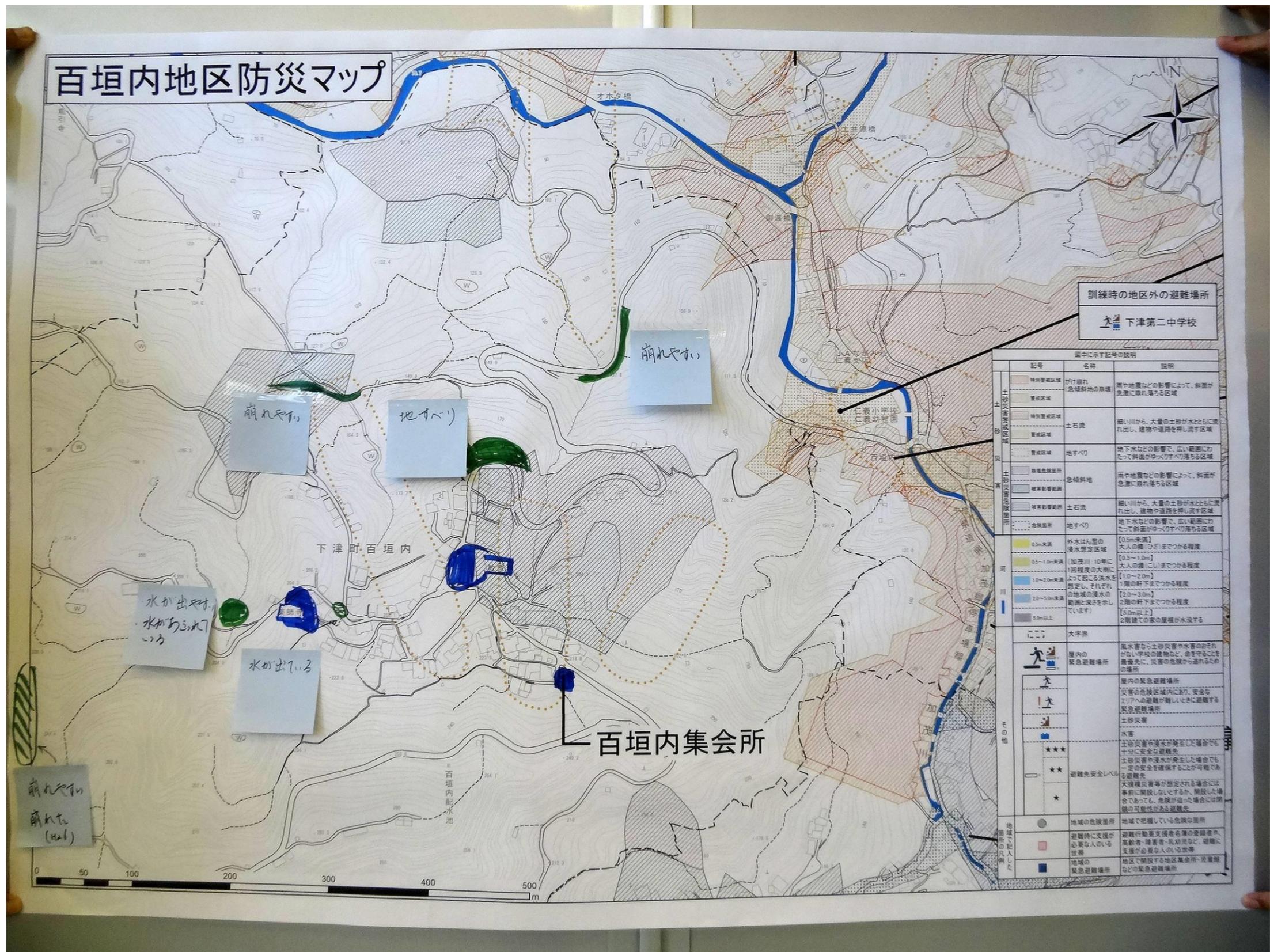


図 2-7 百垣内地区防災マップ

曾根田地区防災マップ



訓練時の地区外の避難場所
 下津第二中学校

図中に示す記号の説明			
記号	名称	説明	
	特別警戒区域	がけ崩れ 急傾斜地の崩壊	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
	警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	警戒区域	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるくなり、崩れ落ちる区域
	特別警戒区域	急傾斜地	雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる区域
	警戒区域	土石流	細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出し、建物や道路を押し流す区域
	警戒区域	地すべり	地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆるくなり、崩れ落ちる区域
	0.5m未満	外水は氾濫の浸水想定区域	【0.5m未満】 大人の膝（ひざ）までつかる程度
	0.5~1.0m未満	（氾濫の川）30年に1回程度の大雨によって起こる洪水を想定し、それぞれの地域の浸水の範囲と深さを示しています	【0.5~1.0m】 大人の腰（こし）までつかる程度
	1.0~2.0m未満		【1.0~2.0m】 1階の軒下までつかる程度
	2.0~3.0m未満		【2.0~3.0m】 2階の軒下までつかる程度
	3.0m以上		【3.0m以上】 2階建ての家の屋根が水没する
	大字界		
	屋内の緊急避難場所		風水害なら土砂災害や水害のおそれがない学校の建物など、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所
	屋外の緊急避難場所		災害の危険区域にあり、安全なエリアへの避難が難しいときに避難する緊急避難場所
	土砂災害		土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難先
	水害		土砂災害や浸水が発生した場合でも十分に安全な避難先
	避難先安全レベル		土砂災害や浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能な避難先
	避難先安全レベル		大規模災害等が想定される場合には事前に開放しないとするか、開放した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先
	地域の危険箇所		地域で把握している危険な箇所
	避難時に支援が必要な人		避難時に支援が必要な人の数、高齢者・障害者・乳幼児など、避難に支援が必要な人のいる世帯
	地域の緊急避難場所		地域で開設する地区集会所・児童館などの緊急避難場所

図 2-8 曾根田地区防災マップ

3. 防災訓練

3.1. 訓練概要

日時	平成27年8月30日(日) 9:00~10:00
場所	笠畑・興・上出・下出・松尾・土井原・百垣内・曾根田
参加者	地区参加者 416名 職員参加者 2名 合計 418名
内容	1. 避難訓練 2. 避難訓練後に地区の防災ミーティング(任意)

3.2. 記録結果

3.2.1. 実施風景

(1) 笠畑



避難完了

(2) 下出(旧仁義小学校)



避難所への避難



避難所への避難



アンケートへの記入



集会の様子

(3) 引尾 (松尾)



避難所への避難



避難完了



アンケートへの記入



集会の様子

(4) 曾根田



避難完了



避難完了



集会の様子

3.3. アンケート結果

※アンケート回答数 128 件

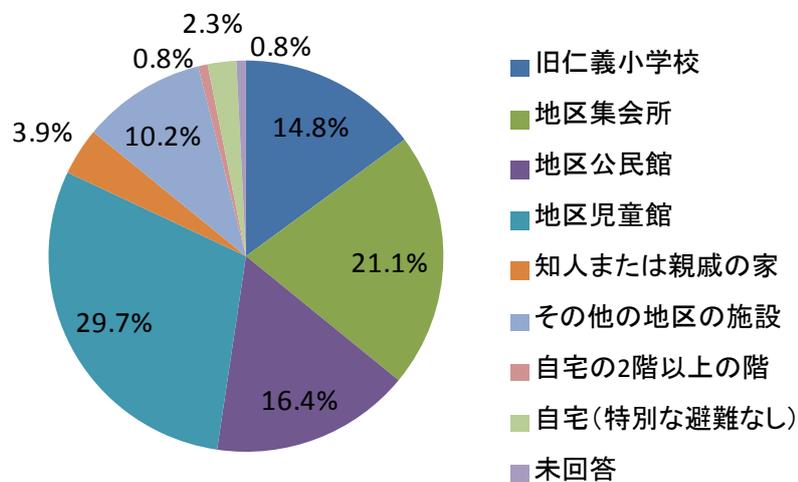
Q1. 今回の訓練で、あなたはどこに避難しましたか。

【アンケート結果】

旧仁義小学校	19
下津第二中学校	0
地区集会所	27
地区公民館	21
地区児童館	38
知人または親戚の家	5
その他の地区の施設	13
自宅の2階以上の階	1
自宅（特別な避難なし）	3
未回答	1

・集会所・公民館・児童館の内訳

笠畑公民館	0
興児童会館	6
上出公民館	0
下出公民館	0
松尾児童会館	9
土井原公民館	21
百垣内集会所	21
曾根田児童館	21
仁義児童館	0



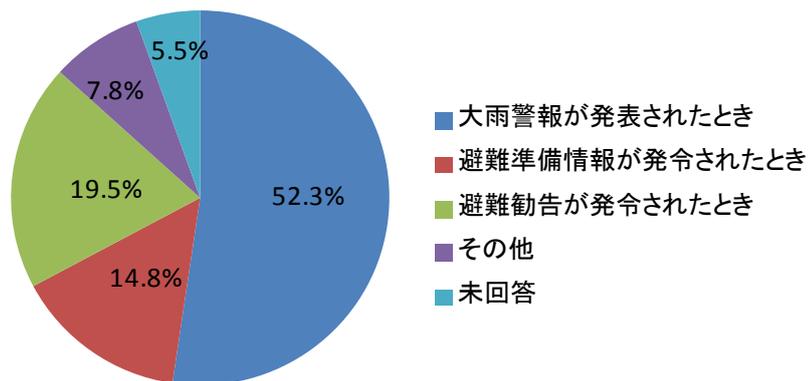
Q2. 問1で答えた場所に避難したのはいつですか。

【アンケート結果】

大雨警報が発表されたとき	67
避難準備情報が発令されたとき	19
避難勧告が発令されたとき	25
その他	10
未回答	7

・その他回答

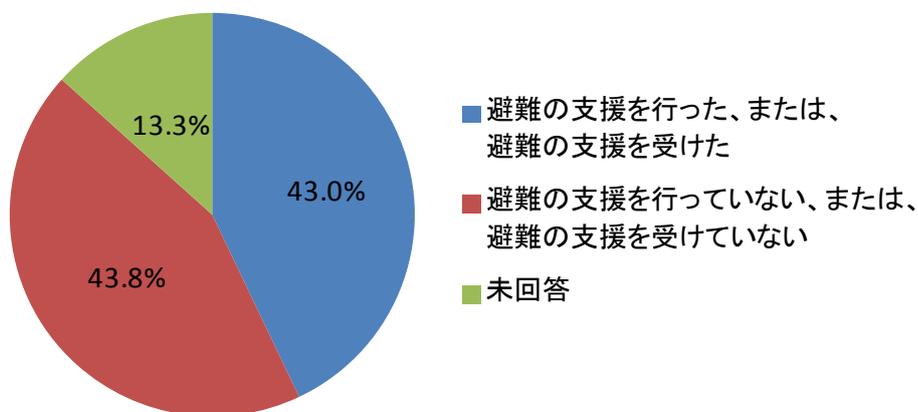
- 発令される前
- 警報発表される前
- 訓練で集まりました
- 避難訓練



Q3. 避難にあたって、あなたはどなたかに支援（声かけ・付添いなど）を行いましたか。

【アンケート結果】

避難の支援を行った、または、避難の支援を受けた	55
避難の支援を行っていない、または、避難の支援を受けていない	56
未回答	17



Q4. 訓練に参加して、お気付きになったことや感じたことをお書きください。

【アンケート結果（御回答いただいた原文の内容をそのまま記載しています）】

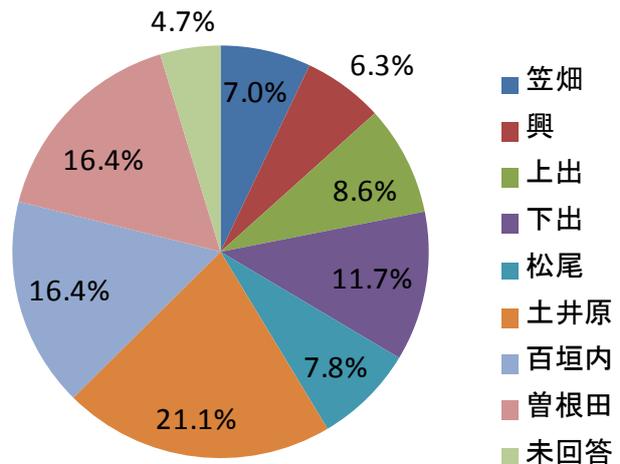
- どの放送のタイミングで避難するのか判断が難しいと思う。
- 果樹が多く植えられている山が多いですが、くずれてくると恐いです。
- 2才の子供（まご）を連れての避難は時間がかかるし、リスクが大きいと思う。
- 近所の声かけが必要。
- コエカケ。
- 自宅より2~3分なので曾根田としては児童館が良いと思います。
- 児童館は小学校に比べて近く避難し易い。しかし建物が古いので耐震等改修して欲しい。
- 建物が古いので心配です。（児童館の）
- 近くでいいが、耐震補強してほしい！
- 近くて良いと感じた。避難場所になるのなら、耐しん性、また備蓄しておく物など、環境を整える必要性を感じた。
- 仁義小学校よりずい分近くて便利でいいが、古くて耐震ができてないのでそれが心配。
- 近くてよいが、建物に問題があるかと思います（以前、児童館が各家庭より揺れが大きく怖くて皆帰った）。
- 本当に災害に会った時は、児童館に行く気にならないと思う。ここの建物は古くて、あてにならない。
- 近くて良い。
- 大雨が出ていたら橋を渡るのがこわい。ガードレールに反射するテープをつけてほしい。（夜の避難の時）
- 避難場所の曾根田児童館について、築40年を超えている。耐震性能について調査し、必要であれば、耐震工事を実施して致したい。
- 避難時、最も近い場所である為。ただ、建築後経過年数もたっており、耐震及設備も不十分の為、現実に使用できるよう設備面の充実を図って下さい。
- 曾根田児童館について。
- 家の近くなので、児童館でいいんですが、耐震補強がしてないので、補強をして欲しいです。
- （顔を見ればわかりますが）班単位で各家の住民の所在確認してもよかったのではないのでしょうか？
- 避難場所として児童館が近くて良かった（徒歩2分）。
- 児童館は区を中心部分に位置するので避難しやすかったです。
- もっと人数が多く集ってほしいですね。
- 家から近くて良かったです。
- 家から近くなので良かったです。
- 児童館が近くでよい。
- 家から近いので避難しやすいと思いました。
- 逃げる時の事など話してよかった。
- 実際の時にどれくらい活かせるか不安
- 訓練について意識向上になった。

- 近所の顔見知りの人ばかりで安心と、誰が来ていないかもよくわかり助け合いの精神に目ざめる事が出来ました。
- もっと避難する意識を高めなければいけない。
- 実際は避難する場所があるのか？

Q5. あなたのお住まいの自治会・区名をお書きください。

【アンケート結果】

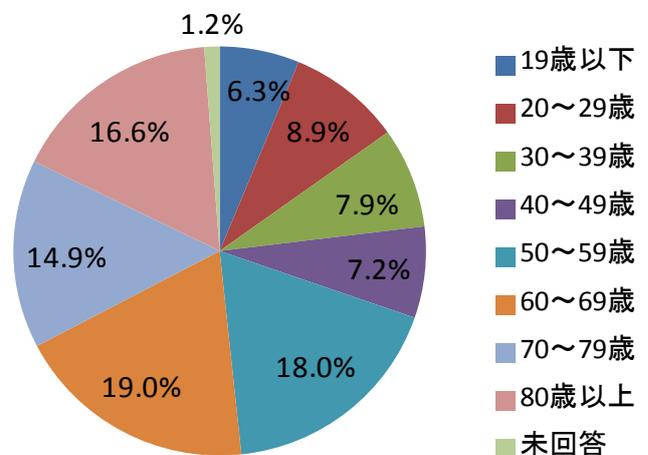
笠畑	9
興	8
上出	11
下出	15
松尾	10
土井原	27
百垣内	21
曾根田	21
未回答	6



Q6. あなたを含めたご家族の年齢と人数をお書きください。

【アンケート結果】

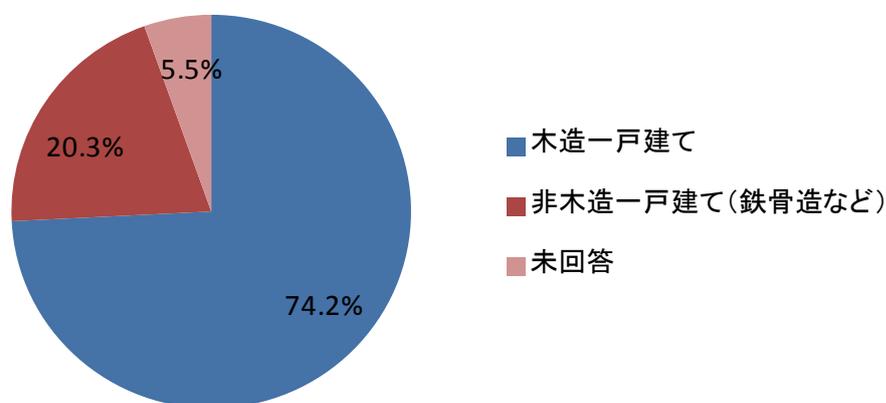
19歳以下	26
20～29歳	37
30～39歳	33
40～49歳	75
50～59歳	79
60～69歳	62
70～79歳	69
80歳以上	5
未回答	5
計	416



Q7. あなたのお住まいの住宅はどのような形態ですか。

【アンケート結果】

木造一戸建て	95
非木造一戸建て（鉄骨造など）	26
長屋（共同住宅）	0
マンション（集合住宅）1階部分	0
マンション（集合住宅）2階部分	0
マンション（集合住宅）3階以上部分	0
その他	0
未回答	7



Q8. その他、海南市の防災対策などについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【アンケート結果（御回答いただいた原文の内容をそのまま記載しています）】

- バイク 1分。
- バイク 2分。
- 歩いて 2分。
- 歩いて 3分。
- 徒歩 2分。
- 歩いて 3分。
- 徒歩 3～5分。
- 徒歩 5分。
- 家出てから車で 15分
- 徒歩 2～5分。夜の大雨避難の時、坂道があるので大量の水がながれたら足元があぶないので高齢者には危険が多いので実さいの時はこわいです。
- 下津インター近辺に、加茂・仁義地区の対応拠点となる避難ヶ所を確保していただきたい。

- 避難後の支援をしっかりお願いしたい。
- 児童館を避難場所にしてくれるとありがたいです。よろしくお願いします。
- 地区でも食料の備蓄をしてほしい。徒歩3分。
- 徒歩3分。高速道路が台風や大雪で封鎖されて国道1本になるので高速を使えるようにあけてほしい。
- 徒歩3分。高速道路が閉鎖されると、国道42号線だけになると困るしその方が、危ない時もある。海南インターまでなら、大雨でも大丈夫やと、思います。
- 防災対策を数々すすめていただいておりますが、海浜部が中心のように感じていますので山間部の対策もお願いします。徒歩5分。
- 主要道路が1本しかないので、道の整備を早くして欲しいです。
- 徒歩3分。
- 住民の意見を聞いて防災対策を講じて下さい。
- 土井原地区の地形上、車道が一本だけです。山に逃げるのも心配だ。
- 大雨災害が特に心配な地域ですので過去において土砂くずれした場所は早急に復旧してほしい。
- 地域の危険カ所等の確認が出来た。
- 訓練にぜひ参加してほしいとの電話があったので良かった。